

第46回腎癌研究会スケジュール

会場：品川インターシティホール

日時：平成27年7月19日(日) 8:30-16:55

8:30-8:35	開会挨拶 (5分)	
8:35-9:15	Oral Session1「基礎」	
	座長：中村英二郎 (京都大学大学院医学研究科メディカルイノベーションセンター 悪性制御研究ラボ) ※一般演題：O-1~5	
9:15-9:55	Oral Session2「予後因子、診断」	
	座長：瀬島 健裕 (鳥取大学 泌尿器科) ※一般演題：O-6~10	
9:55-10:25	教育セミナー「腎癌の画像診断～良悪性の鑑別～」	
	共催：バイエル薬品株式会社	
10:25-11:00	総会／休憩	
11:00-11:50	Asian Session	
	Chair：Hideyasu Matsuyama (Yamaguchi University) 共催：ノバルティス ファーマ株式会社	
11:50-12:00	休 憩	
12:00-13:30	International Session (90分)	
	Co-chairs：Seiichiro Ozono (Hamamatsu University)、Yoshihiko Tomita (Niigata University) 共催：ファイザー株式会社	
13:30-13:40	休 憩	
13:40-14:20	Oral Session3「手術」	
	座長：斎藤 一隆 (東京医科歯科大学 泌尿器科) ※一般演題：O-11~15	
14:20-15:00	Oral Session4「薬物治療」	
	座長：小山 政史 (埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器腫瘍科) ※一般演題：O-16~20	
15:00-15:50	Poster Session／休憩	
	Poster Session1「手術治療」 座長：本郷 文弥 (京都府立医科大学 泌尿器科) ※一般演題：P-1~5	
	Poster Session2「薬物治療、診断」 座長：長嶋 洋治 (東京女子医科大学 病理診断科) ※一般演題：P-6~10	
	Poster Session3「薬物治療、その他」 座長：三浦 裕司 (虎の門病院 臨床腫瘍科) ※一般演題：P-11~15	
	Poster Session4「症例」 座長：立神 勝則 (九州大学 泌尿器科) ※一般演題：P-15~20	
15:50-16:50	Symposium「腎癌のバイオマーカー」	
	座長：釜井 隆男 (獨協医科大学 泌尿器科)、住友 誠 (愛知医科大学 泌尿器科)	
16:50-16:55	閉会挨拶	

第46回腎癌研究会 プログラム

Oral Session1 「基礎」

8:35-9:15

座長：中村英二郎（京都大学大学院医学研究科メディカルイノベーションセンター 悪性制御研究ラボ）

O-1 Xp11.2転座腎細胞癌発癌機構の解明

馬場 理也（熊本大学国際先端医学研究拠点施設/Urologic Oncology Branch, NCI/NIH）

O-2 腎癌細胞株を用いた脳型脂肪酸結合タンパク質FABP7の機能解析

高岡 直央（浜松医科大学 泌尿器科）

O-3 腎癌におけるSemaphorin3Cの役割と治療的意義の検討

出嶋 卓（九州大学 泌尿器科）

O-4 FLCN結合蛋白FNIP1およびFNIP2の腎臓における役割

蓮見 壽史（横浜市立大学 泌尿器科）

O-5 腎細胞癌患者における末梢血抑制性ミエロイド細胞の解析

元島 崇信（熊本大学 泌尿器科）

Oral Session2 「予後因子、診断」

9:15-9:55

座長：瀬島 健裕（鳥取大学 泌尿器科）

O-6 小径腎腫瘍における脂肪成分の少ない腎血管筋脂肪腫の診断予測モデル 田中 一（東京医科歯科大学 泌尿器科）

O-7 腎細胞癌におけるGeriatric Nutritional Risk Index（GNRI）の予後予測因子としての意義

桃園 宏之（神戸大学 泌尿器科）

O-8 腎癌におけるFDG-PETとグルコーストランスポーターについての検討

別納 弘法（獨協医科大学 泌尿器科）

O-9 CTG（chromophobe tumor grade）を用いたchromophobe RCCの検討

加藤 義晴（愛知医科大学 泌尿器科）

O-10 腎細胞癌における組織内浸潤T細胞のプロファイリング解析

河嶋 厚成（大阪大学 泌尿器科）

教育セミナー

9:55-10:25

共催：バイエル薬品株式会社

E-1 腎癌の画像診断～良悪性の鑑別～

陣崎 雅弘（慶應義塾大学 放射線診断科）

Asian Session

11:00-11:50

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

Chair：Hideyasu Matsuyama（Yamaguchi University）

A-1 Surgery and systematic therapy for advanced RCC

Yen-chuan Ou（Taichung Veterans General Hospital Taichung, Taiwan）

A-2 Current status of renal cell carcinoma in Korea-epidemiology and treatment for advanced RCC

Jinsoo Chung（National Cancer Center Korea）

International Session

12:00-13:30

共催：ファイザー株式会社

Co-chairs：Seiichiro Ozono（Hamamatsu University）、Yoshihiko Tomita（Niigata University）

I-1 Neoadjuvant & adjuvant targeted therapy for locally advanced or metastatic RCC

Axel Bex（The Netherlands Cancer Institute Division of Surgical Oncology Department of Urology）

I-2 Cytoreductive nephrectomy and metastasectomy in targeted therapy era

Noel W Clarke（Salford Royal NHS Foundation）

Case discussion

Oral Session3「手術」

13:40-14:20

座長：斎藤 一隆（東京医科歯科大学 泌尿器科）

- O-11 腎細胞癌手術後に他因死した症例の検討 ― 他施設による腎摘除、腎部分切除症例1942例よりの検討 ―
佐々 直人（名古屋大学 泌尿器科）
- O-12 根治的腎摘除術後の再発までの期間に関する臨床的検討
大庭康司郎（長崎大学 泌尿器科）
- O-13 Tb腎腫瘍に対する腎部分切除術におけるrenorrhaphy法とnon-renorrhaphy法の手術成績の検証
高木 敏男（東京女子医科大学 泌尿器科）
- O-14 腎腫瘍に対する腎部分切除と術後の新規高血圧発症および既存高血圧増悪との関連
井上 雅晴（東京医科歯科大学 泌尿器科）
- O-15 腎部分切除術後の新たな腎機能寄与因子の検索 ― 高性能画像テクノロジーと組織学的解析はどちらが有用か？ ―
瀬島 健裕（鳥取大学 泌尿器科）

Oral Session4「薬物治療」

14:20-15:00

座長：小山 政史（埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器腫瘍科）

- O-16 腎癌骨転移症例に対するサイトカイン療法時代と分子標的薬時代における治療成績の比較検討
羽田 圭佑（東京女子医科大学 泌尿器科）
- O-17 当施設における進行性腎癌に対する1st-lineスニチニブ治療 ― 投与スケジュールとアウトカムの検討 ―
北村 寛（札幌医科大学 泌尿器科）
- O-18 初回分子標的治療に対する反応の違いによる転移性腎癌の治療成績
深沢 賢（千葉県がんセンター 泌尿器科）
- O-19 分子標的薬治療後に原発巣摘除または転移巣切除を行った進行性腎癌の予後検討
加藤 廉平（岩手医科大学 泌尿器科）
- O-20 腎癌におけるTKIとIL-6受容体抗体併用効果 ～動物用FDG-PETによる評価～
石橋 啓（福島県立医科大学 泌尿器科）

Poster Session1「手術治療」（5演題）

15:00-15:35

座長：本郷 文弥（京都府立医科大学 泌尿器科）

- P-1 当院のロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術の治療成績
若松 太郎（東京女子医科大学 泌尿器科）
- P-2 ICG蛍光内視鏡補助下腹腔鏡下腎部分切除術の経験
吉田 哲也（滋賀医科大学 泌尿器科）
- P-3 腹腔鏡下腎部分切除術におけるR.E.N.A.L. Nephrometry Scoreの有用性の検討
野村 博之（原三信病院 泌尿器科）
- P-4 腎細胞癌pT3aN0M0の臨床検討
木田 和貴（宮崎大学 泌尿器科）
- P-5 腎部分切除後急速に下大静脈内腫瘍塞栓を形成した乳頭状腎細胞癌の1例
山口 健哉（日本大学 泌尿器科）

Poster Session2「薬物治療、診断」（5演題）

15:00-15:35

座長：長嶋 洋治（東京女子医科大学 病理診断科）

- P-6 転移性腎癌に対するファーストライン分子標的薬による腫瘍縮小率と全生存期間に関する検討
八木澤隆史（東京女子医科大学 泌尿器科）
- P-7 転移性腎癌に対するスニチニブ治療におけるC反応性蛋白（CRP）の検討
五十嵐大樹（岩手医科大学 泌尿器科）
- P-8 C反応性蛋白高値症例に対するスニチニブ治療における効果予測因子の検討
藤田 哲夫（北里大学 泌尿器科）
- P-9 分子標的治療を施行された転移性腎細胞癌の予後におけるbody mass indexの影響
亭島 淳（広島大学 泌尿器科）
- P-10 腎癌原発転移性食道腫瘍の2例
池田 敬至（東京女子医科大学 泌尿器科）

Poster Session3 「薬物治療、その他」(5 演題)

15:00-15:35

座長：三浦 裕司 (虎の門病院 臨床腫瘍科)

- P-11 術前分子標的薬治療を行った腎細胞癌 9 例の臨床的検討 佐倉 雄馬 (香川大学 泌尿器科)
 P-12 分子標的薬使用における腎機能の推移についての検討 原 秀彦 (杏林大学 泌尿器科)
 P-13 転移性腎癌症例に対するアキシチニブ投与による腎機能の変化および尿所見の変化に関する検討 大久保和樹 (防衛医科大学校 泌尿器科)
 P-14 進行性腎細胞癌に対する 2 次治療としての mTOR inhibitor の使用経験 鈴木賢次郎 (埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器腫瘍科)
 P-15 パゾパニブが有効であった腎機能障害を伴う転移性腎癌の一例 新井 学 (獨協医科大学越谷病院 泌尿器科)

Poster Session4 「症例」(5 演題)

15:00-15:35

座長：立神 勝則 (九州大学 泌尿器科)

- P-16 7, 17 番染色体のトリソミー、Y 染色体の欠失に加え、2 番染色体のトリソミーを呈した 2 型乳頭状腎細胞癌の一例 黒田 直人 (高知赤十字病院 病理診断科部)
 P-17 抗 VEGF-TKI 剤により発症した壊疽性膿皮症の一例 柴崎 昇 (京都大学 泌尿器科)
 P-18 axitinib 投与の度に消化管穿孔を繰り返した 1 例 荒木 千裕 (帝京大学ちば総合医療センター 泌尿器科)
 P-19 3rd line として Pazopanib を使用し著効した腎細胞癌の 1 例 山崎 智也 (岡山医療センター 泌尿器科)
 P-20 超高齢腎癌患者の自然経過 前田 佳子 (東京女子医科大学附属青山病院 泌尿器科)

Symposium 「腎癌のバイオマーカー」

15:50-16:50

座長：釜井 隆男 (獨協医科大学 泌尿器科)、住友 誠 (愛知医科大学 泌尿器科)

- S-1 転移性腎細胞癌に対する sunitinib の効果予測マーカーとしての血清 MMP-9/TIMP-2 ratio の意義 三宅 秀明 (神戸大学 泌尿器科)
 S-2 淡明型腎細胞癌において、microRNA-27a-3p の高発現は独立した再発予測因子である 植村 元秀 (大阪大学 泌尿器科)
 S-3 FDG PET/CT—進行性腎細胞癌の新たな Imaging Biomarker としての可能性 中井川 昇 (横浜市立大学 泌尿器科)
 S-4 淡明型腎細胞癌に対する TKI の効果予測としての原発巣の造影 CT 評価 佐塚 智和 (千葉大学 泌尿器科)
 S-5 転移性腎癌に対するスニチニブ投与において、スニチニブによる腎機能障害は抗腫瘍効果を予測するバイオマーカーになる可能性がある。 福田 洋典 (東京女子医科大学 泌尿器科)
 S-6 日本人の転移性腎癌症例に対するスニチニブ治療における臨床的バイオマーカー開発を目的とした多施設共同前向き試験 水野 隆一 (東京メトロポリタンスタディグループ)